

# 夢郷

ゆめ  
ごうり

夢のある  
故郷を目指して  
JA Shin-iwate PR-Magazine

2022  
1月号  
No.299

## 賀正

JA県下統一誌面

特集

### 農業とSDGsでつなぐ豊かな未来



# 新年明けまして おめでとーございませす

## コロナ禍を乗り越え 人にやさしい協同社会築く

代表理事組合長



はたなか しんきち  
畑中 新吉

組合員の皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご承知の通り昨年の秋以降、新型コロナウイルスの感染が急速に減少しています。かつての街のにぎわいが戻るには、なお時間がかかると思われ、コロナで失った日常を取り戻そうと各地で懸命の取り組みが続いています。

4年ぶりとなった衆議院選挙ではコロナ対策が大きな争点の一つになりました。政府は3回目のワクチン接種に向けた準備を本格化させており、子どもへの接種についても検討を始めています。第6波を現実のものとしないうちに、これまでの教訓を生かした万全の備えが望まれます。

令和3年度米の作況指数は、令和2年度に続き103のやや良と発表されました。しかし、コロナ禍が続く中で需要の先行きが見通せない中、適

正とされる180万トンを大きく上回るものが想定されるため、厳しい概算金設定を余儀なくされました。

園芸取扱高についても需要減を受け価格が低迷、生乳にあつては牛乳・乳製品の需要低迷から、来年度から生産抑制に取り組む産地もあるとの情報もあり、農畜産物の需給調整が大きな課題となっております。

令和3年度は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、一段と厳しさを増した経営環境のなか、皆さまのお力で、何とか影響を最小限に留めるべく最大限の努力をして参りました。米価下落を受け諸対策に取り組んでいただきまして行政をはじめ、ご尽力、ご協力いただきまして皆さまにはこの場をお借りして御礼を申し上げます。

今年度は第九次3か年計画の最終年度であるとともに第十次3か年計画策定の年でもあります。コロナ禍を乗り越え、人にやさしい協同社会を築くために役員一丸となって取り組んで参りたいと思っております。今一度、皆さま方へ更なるご協力をお願いいたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

## 各組織代表から新年のあいさつです。

### デジタル化により、 JA活動を強化しよう！



総合運営委員会  
委員長  
くどう やすお  
工藤 安男

組合員の皆さま、あけましておめでとうございます。

この2年間、社会を苦しめたコロナ禍の中で多くの行事、会合が取りやめとなり、人と人の密を避ける日常生活が続く、コミュニケーションをどうしたらいかが悩んだことと思います。

JA運営においても総合運営委員会が全員堂に会することができず、初のWEB会議開催となりました。農家組合や各支部・組織の総会も書面議決により行うことになるなど、幅広くご意見を聞く活動が大きな制約を受けています。

一方で、リモートワーク等デジタル化が急速に進行し、私たちの暮らしや仕事は大きな変化に直面しております。当JAにおいても、デジタル化の進展に対応して、積極的にIT技術を活用し、組織運営や事業活動など多面的にデジタル化を進め、組合員の協同活動を二層発展させる必要性を感じます。

当委員会は、各組織や組合員の皆さんの、現場からの三言を引き続き重視し、JAの組織・経営基盤強化に貢献したいと思っております。



稲作生産部会  
協議会長  
たかはし さちお  
高橋 幸男

### 今年こそ

新年あけましておめでとうございます。

令和3年はコロナに始まりコロナに終わった年であったと思います。その中、米の生産米価が大きく下がりが、稲作農家には大変な年だったと思っております。また、肥料、除草剤等価格が上がる傾向にあり、大変な年になりそうだと思います。また、転作が強化されようとしています。部会員各位には飼料用米に転換し、集落営農で団地化、複数年契約など活用し農家所得向上に向けて作付計画をしていただきたいと思っております。

本年はコロナが収まり、米の消費が向上することを祈っております。厳しい年になると思っておりますが、部会員の皆さまに於かれましては、本年もよい年になる事を祈っております。

まだコロナは終わっていません。本年も体には気を付けて元気で生産に頑張っていたことをお願いし、令和4年はよい年になるようお祈り申し上げます。



野菜・特産物生産部会  
協議会長  
みうら まさみ  
三浦 正美

### 責任供給産地としての 役割を果たす

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、外国人実習生の新規入国が制限されたことによる作付面積の減少や、梅雨明け後の7月の高温から一転、8月に入ってから低温などによる出荷量の減少、販売価格の低迷など、野菜農家にとっては大変厳しい年となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響はこの先もまだ見通すことができませんが、信頼される産地としてより一層の良品質な作物の生産を図り、的確な産地情報の提供により安定継続出荷が益々重要になると思っています。

本年は、さらなる供給責任産地としての飛躍の年にするべく、効率的生産計画や栽培管理の徹底を皆さまと取り組んで参ります。

令和4年は生産者の皆さまにとって、良い年でありませすよう、ご祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。



花卉生産部会  
協議会長  
たちばな けんせい  
立花 賢生

### 新型コロナ終息を願う

新年あけましておめでとうございます。

昨年も続く新型コロナウイルスの影響下での一年となり、組合員の皆さまに於かれましては、ご苦労の絶えない年となった事と思っております。また昨年は雪解けも早く、桜の開花から始まり一年を通し前進傾向での作柄となり、需要対応にも苦労した年となりました。

そんな中ではありましたが、家庭向け需要として量販店、ネット通販等での動きが活発となり、前進傾向もあり品薄感もあったことから単価面では前年並みの高単価での販売となりました。また延期となつていた東京オリンピック、パラリンピックも無事開催となり、県産リンドウがピクトリーブーケに使用され、全世界の人々の目に触れる機会となりました。県産花卉の品質の良さを改めて評価頂く事ができたと感じております。

さて新年を迎え、新型コロナウイルスの終息、その後の花卉産業の更なる活性、そして皆さまのご健康、ご多幸を願ひ新年のあいさつとさせていただきます。



酪農生産部会  
協議会長  
ほしの としひろ  
星野 俊博

### 次の時代に継承

新年あけましておめでとうございます。

令和4年という新しい年を迎えるにあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の拡大がなかなか収まらず、我々の活動も制限される中、3密回避のため、リモート会議など新しい取り組みが始まりました。

また、昨今の酪農情勢でございますが大変厳しい状況を迎えようとしています。燃料、資材、肥料、飼料の高騰、いわゆる四重苦と言われる苦難に悩まされています。

それでも我々生産者は、幾度となく訪れた大変な時代を力強く生き抜いてきました。今、一番忘れてはいけない事は「必ず次の時代に継承、継げる事」を念頭に置きながら関係機関と連携を取り合い協同の精神のもと、令和4年は健康にて御活躍されます事を願ひまして、新年のあいさつとさせていただきます。



肉畜生産部会  
協議会長  
ささきのほる  
佐々木 昇

### 生産体質強化で 足腰の強い畜産業を

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新春を迎えること、お慶び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の流行により、規制の中での組織活動となり思うような事業展開ができないう年でした。

延期された東京オリパラも無観客での開催となり、期待された農畜産物需要も空振りに終わり、さらには飲食業界も相次ぐ規制で消費環境が改善されない状況でした。一方、農畜産物輸出が牛肉を中心に大きく拡大され、二兆円を超える見込みとなり、明るい兆しもあります。

しかしながら日本の畜産業は輸入飼料に依存した業態となっており、世界的な異常気象での減産、超大国の買占め、さらには物流体制の不安定性等問題も山積しています。

このような状況から、生産資材の安定供給体制の構築と自給飼料生産拡大等継続可能な足腰の強い農業基盤確立を図るよう、JA組織を上げて取り組まなければなりません。厳しい中ではありますが、歩着実に進み、この困難を乗り越えるための年にしたいものです。



女性部部長  
えんどう みえこ  
遠藤 美江子

### 5年後、10年後も 輝くために...

新年あけましておめでとうございます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症の影響により、数々の行事について自粛・中止すべきか判断に頭を悩ませながらの難しい活動状況となりました。人が集まらず、活動に支障がでていますが、各支部の皆さまは、この環境の中で何ができるかを考え創意工夫をし、それぞれの地域にあった活動を展開してくださったことに感謝しています。また、国連が採択した持続可能な社会を築く目標であるSDGsがありますが、食育と食農の取り組みなど普段から推進している活動そのものがSDGsにつながるものと、私たち女性部は捉えています。Withコロナ時代における活動はより一層の感染症対策やIT機器の活用を通じて、

これまでの取り組みも大切にしながら、新しい時代の女性部活動を進めていかなければならないと思っております。創立70周年を迎える節目の年です。思いをひとつに女性の輪を次代につなげたいと思っております。



青年部委員長  
まいた まさき  
米田 雅樹

### 困難を乗り越えて

新年あけましておめでとうございます。

昨年も、新型コロナウイルスの影響により、皆さまのご協力、温かいご指導・ご鞭撻を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

さて、昨年も一昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により様々な事業や青年部活動を制限せざるを得ない状況でした。年末には感染者も減少し、岩手県においては連日感染者ゼロを記録しておりましたが、オミクロン株の確認もあり、まだ予断を許さない状況となっております。

このような状況下ではありますが、感染対策をしつつできる事が我々には、まだあると思っております。農業関係者は一体となつてこの困難を乗り越えていかなければなりません。

令和4年は青年部としても、今まで以上に盟友の結束力を高め、取り組んでいきたいと思っております。新年が良い一年となる事を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。



12 つくる責任  
つかう責任



15 陸の豊かさも  
守ろう



4 質の高い教育を  
みんなに



8 働きがいも  
経済成長も



11 住み続けられる  
まちづくりを



4 質の高い教育を  
みんなに



4 質の高い教育を  
みんなに

# 農業とSDGsで つなぐ豊かな未来



SDGsは、すべての人間が将来にわたって豊かに安心して暮らすための取り組みです。  
農業は食料を生産するだけでなく、環境保全や地域社会への貢献などSDGsの活動にも深く関わっています。  
今回の特集では、豊かな未来を創るために取り組む農業者や団体を紹介します。

## 12 つくる責任 つかう責任

### 地域農業の未来を担う JA新しいわて



山田町・豊間根 集落営農組織「ゆたか農産やまだ」

山田町内の水田の耕作放棄地を借り受けて大豆の栽培管理、および地域の担い手支援に取り組んでいます。昨年の作付は26ha、目標収量は10a当たり150kgで、一部課題は残るものの、おおむね良好な結果となりました。

設立してから2年経ちますが、関係機関・団体の指導をいただきながら、作業内容や役割分担など会員同士で話し合い、着実に活動を進めています。

将来的には法人化も視野に入れており、耕作放棄地の解消や耕畜連携に向けた取り組みをさらに進めていきたいと思えます。震災後の影響や高齢化など、さまざまな問題はありますが、力を合わせ、将来にわたって農業が続けられる地域を目指します。

エスディージズ  
持続可能な開発目標「SDGs」

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは世界全体で取り組む普遍的なものであり、JAグループとしても積極的に取り組んでいます。





## 地域に根付く農業とブランドを未来につなぐ

JA江刺

平成29年に就農し、水稻の栽培と牛の飼養に取り組んでいます。地域では稲わら・もみ殻を家畜の餌や敷料にするといった循環を基本とする「江刺型農業」や、「江刺金札米」をはじめとする農畜産物ブランドが当たり前のものとして根付いています。ずっと昔からこの土地で農業に向き合い、ブランドを築き、次の世代につなぎ続けてきた先人のおかげで今があることを思うと、感謝と誇りを感じます。

私の家族は、農業や地域に向き合いながら、私を育ててくれました。私も安全・安心でおいしい農畜産物を未来につないでいきたいですし、農業を仕事のひとつとして知ってもらい、好きになってもらえるような情報発信にも取り組んでいきたいです。

奥州市・江刺 おいかわ たかし 及川 貴士さん (31)



## 地域と共に紡ぐ伝統

JAおおふなと



大船渡市 おおふな と し りつ ひ ころいちしょうがっこう 大船渡市立日頃市小学校

大船渡市立日頃市小学校は、地元で盛んな米作りについての理解を深め、「食」の大切さを学ぶため、同校近くの学習田で農業体験活動を行います。昭和58年から続くこの活動は、地元の宿八幡会会員の協力のもと行われる伝統行事で、JAおおふなとの水稻苗提供により、今年度は5月に「ひとめぼれ」の苗を植え、10月には親子行事として収穫作業を行いました。

子どもたちが実際に米農家の方々から指導を受けることができるのは、お米を作る大変さ、そして生きることに欠かせない「食」の大切さを学べる貴重な体験です。農業体験活動を通して、ご飯が食卓に並ぶまでにはさまざまな手間がかかり、多くの人たちに支えられているということを改めて実感しました。



## 将来の農業の担い手に期待

JAいわて平泉



一関市 いちのせき し りつざくらまちちゅうがっこう 一関市立桜町中学校

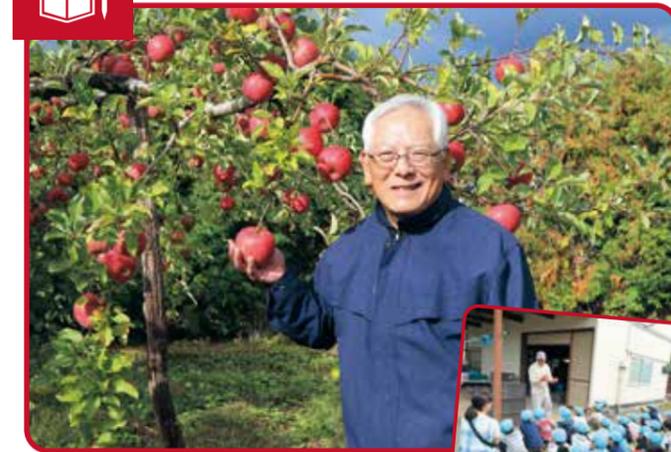
一関市立桜町中学校では、令和2年度に岩手県フラッグシップ米「金色の風」の栽培に携わり、達増拓也知事との田植えや稲刈りを行った他、バケツ稲に初めて取り組みました。今年度は、さらなる取り組みを目指し「JAいわて平泉×桜町中学校アグリ・タッグ・プロジェクト」として通年での農業体験学習における指導やサポートをJAが行い、次世代を担う生徒たちの健全育成支援に取り組んでいます。2年生104人は、一関地方の農業について学んだ他、圃場の石拾いや田植え、リンゴ農家での管理作業や収穫作業を行いました。技術科の時間では「金色の風」のバケツ稲にも取り組みました。

体験学習を通じて食と農の関わりや地域農業に理解を深めていきたいです。



## 地元園児にリンゴ栽培伝える

JAいわて中央



盛岡市・下太田 ふじさわ こういち 藤澤 孝一さん (73)



私は小学校の音楽教師を長年勤めた後10年前に就農し、そこから毎年地域の保育園の園児を招いてリンゴ収穫作業体験を行っています。祖父の代から始めて約100年になり、今年は4カ所の保育園から園児約200人を招き、日頃から一緒に作業しているリンゴ農家仲間やお手伝いの4人で子どもたちに教えました。体験では分かりやすい言葉で収穫の仕方をゆっくり説明することや、体験中にケガの無いように環境整備を心掛けています。

体験を通じて子どもたちに農業に興味を持ってもらい、農業の未来も明るくしてくれることを期待したいです。将来農業に携わるなど、直接結びつかなくても、リンゴを思い浮かべた時に木の上で赤く実っている情景や自分の手で収穫した経験が、少しでも記憶として残ってくれたら嬉しいです。今後も体力の続く限り、活動を行っていきます。



## 働きやすい環境作りを目指して

JAいわて花巻

農業に興味がなかった私ですが、農業を始めたくなり両親や地域の先輩方にお世話になりながら育てられ、就農して23年が経ちます。約15年前からは作業の人手が足りずに雇用を始めました。働いてくれる人を自分で声を掛けて探していましたが、令和元年にJAいわて花巻が無料職業紹介所「アグリワーク」を開所したので利用しています。

我が家では通年雇用が難しいため、繁忙期の時期雇用になってしまいますが、年齢を問わず農業で働いてみたいという意欲のある人たちを対象に雇用創出に取り組んでいます。子育て世代でも働きやすいように、土日休みや急な休みにも対応します。いろいろな作業がある中で、その人に合った適正作業を見極め、働きやすい環境作りにも取り組んでいます。

花巻市・葛 いなぼ とおる 稲葉 透さん (58)



## 幼い頃の記憶に残る風景を未来につなぎ

JA岩手ふるさと



奥州市・胆沢 ささきのりや 佐々木 憲也さん (37)



令和元年に就農し、現在水稻4ha・露地ピーマン10a栽培しています。農業を始めると、奥深さや大変さを身をもって感じ、丹精込めて栽培したというのに、自分の努力とは無関係に下がり続ける米の価格に落ち込んだこともありましたが、それでも自分が育てたお米や野菜が食卓に届き、おいしいと喜んでもらえることに幸せや手応えを感じています。

私が生活する地区では、水田地帯の中にエグネ(屋敷林)で囲まれた民家が点在する「散居集落」といわれる景観が広がります。日本の原風景といわれる美しい田園風景を丁寧に農地管理・維持する農業を実践していくことで、幼い頃から記憶に残るこの風景を未来の子どもたちに残していきたいです。



双子座 [5/21~6/21]

つい、うっかりしてしまいがち。安全点検はしっかりと。いつも使う物は特に入念に手入れをしておきましょう★チコリ



牡牛座 [4/20~5/20]

好調運です。やりたいことをリストにし今年の目標を立てて。実り多い年にできます。技術の取得にツキあり★ヒラメ



## 牛好きの少年

岩泉町で、両親と酪農を営む貴喜さんは現在、昨年の春に新築した牛舎で搾乳牛17頭、育成牛19頭を飼養している。身近に牛がいる環境で育った貴喜さんは牛が好きで、小さい頃から好んで餌やりなど牛の世話をしていた。しかし、小学生になり物心がつく頃には恥ずかしいという気持ちも芽生えてきた。「牛がいるのが当たり前な環境で育ってきたが、小学校に入ると牛を飼っていない人も多く、その当時は酪農や農業がカッコ悪いと感じ始めていました」と話す。その頃から手伝う機会も減り牛から離れるようになっていった。

その後、祖父の加齢に伴いハビリに興味を持った貴喜さんは、大学で作業療法学を学びハビリの仕事に就いた。

## 手伝いから生業へ

実家から離れて働く貴喜さんだったが、就職から2年目の時に両親が体調を崩し実家を手伝う機会が増えてきた。「酪農の仕事は嫌いじゃなかったけど、突然頼まれることもありまして」と当時を話す。このままではどちらの仕事にも影響があるので、実家に戻り地元でハビリ関係の職場で働きながら実家の酪農の仕事を手伝うようになった。

そんな貴喜さんだったが、地元の若手酪農家の勉強会に参加した時、自分の酪農に対する知識の無さを実感した。「酪農を身近に感じ仕事としてやっていったつもりだったが、他の酪農家との知識の違いを感じた」と話す。頼まれてやっていくことがあくまで「手伝い」だと気付いた貴喜さんはハビリの仕事を辞め、酪農の仕事に専念するため1年間酪農ヘルパーとして働いた。「実家しか見てこなかったんで、他の酪農家のやり方や設備の違いなども勉強になった」と話す。そして平成30年の9月から両親のもとで酪農の仕事に本格的に始めた。

## ぶつかり合いから見える形

就農当時について「最悪でした。自分なりに学んできたことを生かし効率良く

# ここに合った酪農経営を

うちむら 貴喜さん(31) (岩泉町・門)

がんばれ、担い手!

仕事をしようとしたが、父と意見が合わずぶつかったばかりでした」と苦笑いする。長年やってきた父の経験と、今から効率良く経営しようとする貴喜さんの食い違いが続いた。

そんな中、父が元大工だったこともあり、2人で牛舎を建てることになった。設計から始まった牛舎の新築は、2人の意見のぶつかり合いと協力の中で進んだ。「これから何十年と使っていく牛舎なので、効率よく働けるようなものにしたかった」と話す貴喜さん。山から木を切り出し、まわりの人にも協力してもらい完成させ、令和3年4月から稼働した。

新たなスタートを切った貴喜さんだが「自分なりのこだわりのある牛舎で作業効率が良くなった。反面、父の言うことも正しいのではないかと感じることもある」と話す。エサの量などでも意見が合わなかったが、父が言う理由も少しずつ理解しているように感じられる。

将来について「まだまだ分からないことが多い。今は、この牛舎をフルに使って搾れるようにするために周りの人や父からも多くを学んでいきたい。そして、ここに合った酪農の形を自分なりに作ってみたい」と話す。また「周りの人にとっても良くしてもらい本当に感謝の気持ちしかない」と笑顔を見せる貴喜さん。一度は離れた牛好きだった少年が、牛のいる生活を進み始めている。



保育士試験の合格に向けてがんばります!

下道 穂乃花さん(21)【滝沢市・室小路】

「子どもたちに『ありがとう』と言われるとうれしいです」と笑顔で話す穂乃花さんは、福祉サービス施設で働いて3年目で、主に障がいのある子どもたちのサポートなどを担当しています。「やりがいのある仕事で毎日が勉強ですね」とのこと、現在の目標は保育士の資格取得。また将来的には「介護関係の資格にも挑戦してスキルアップにつなげたいです」と意気込みます。

撮影地：米バン屋（滝沢市）

もくじ	特集 JA県下統一誌面 農業とSDGsについて 豊かな未来	4
今年のあいさつ	がんばれ担い手(岩泉町) ほっとスマイル(滝沢市) 夢ネット(各地の話)	2
宮農情報(園芸)	フロム東京	8
畜産情報(家畜市場成績)	わが家のわくわくドリーマー 元気の源(滝沢市) あぐりトーク (テーマ:お正月)	9
あれもこれもいいね!新しいわて JAの活動とSDGs	おしらせ	10
理事会報告 JAの概要 かがsファミリー	おたよりコーナー クロスワードパズル	15
未来アスリート (寺田菜道スपोर्टス少年団・八幡平市 いただきま〜す(洋野町)		17
		18
		19
		20

すべての方から「いいね」と言われる  
JAでありたい...



- 輝く太陽 ●緑の大地 ●豊かな稔り
- 青い空と澄んだ水 ●純情で温かい人の心

八幡平  
11/29



↑八幡平和牛改良組合は、八幡平イツで全体研修会を開きました。肉牛商事の和牛技術コンサルタントに挑戦しました。体験は、国語の「すがたを変える大豆」の教材と連携。収穫した大豆を使って、一連の豆腐作りを体験し、用意した豆腐料理などを味わいました。

東部  
11/26



↑岩手町立一方井小学校の3年生19人は、一方井地区営農組合と豆腐作り体験研修会を開きました。国語の「すがたを変える大豆」の教材と連携。収穫した大豆を使って、一連の豆腐作りを体験し、用意した豆腐料理などを味わいました。

宮古  
11/25



↑宮古地域野菜生産部会ブロックリー専門部は、ブロックリー連作障害対策研修会を開きました。宮古エリアと久慈エリアの生産者11人が参加し、連作障害の特徴と対策などを学びました。

新しいわて  
11/9



↑第14回いわて牛後継者校肉共助会が東京食肉市場で開かれ、雫石町の澤田豊さん出品牛が優秀賞に輝きました。

二戸  
12/2



↑北部りんご生産部会は、二戸市の藤原淳市長を表敬訪問し、今年度の出荷が始まったブランドりんご「冬恋」を贈呈しました。同部会の平秀樹部会長と同部会若者会の平裕部会長が、今年の生産状況などを報告しました。

二戸  
12/1



↑奥中山野菜生産部会レタス専門部は奥中山地区公民館で、東部エリアの生産者と合同でレタス品種勉強会を開きました。

新しいわて  
12/1



↑JAは、2021牧草ロール写真コンテストの審査会を開きました。審査結果および入賞作品は本誌17頁でご紹介しております。

八幡平  
11/29



↑八幡平営農経済センターは寒じめほうれんそうの目揃い会を開き、本格的な出荷前に出荷規格を確認しました。

二戸  
12/10



↑奥中山野菜生産部会トマト専門部と二戸営農経済センターは、一戸町で令和3年度トマト実績検討・推進大会を開きました。生産者と関係者35人が出席し、今年度の実績と次年度の取り組みなどを確認しました。

二戸  
12/3



↑二戸営農経済センター一戸地区担当課は、奥中山野菜集出荷場で促成アスパラガスの目揃い会を開き、生産者10人が参加しました。

南部  
12/5



↑雫石町歳末助け合いチャリティーショーが雫石町の野菊ホールで開かれ、JA女性部雫石支部は、JA職員らと「人生祝い唄」に合わせた踊りを披露しました。

南部  
12/20



↑女性部雫石支部は、あねっこハウスで今年度1回目のお楽しみ教室を開きました。部員10人が参加し、おせち料理作りをしました。

新しいわて  
11/24



↑JA岩手県青年組織協議会は盛岡市の産ビルで令和3年度JA青年組織づくり看板岩手県コンクールの審査会を開きました。県内から32点の作品が応募されました。県内から32点の作品が優秀賞に選ばれました。同支部の作品は2月に開かれる全国コンクールに推薦されます。

南部  
12/22



↑南部営農経済センターは同センターでカルチャー教室を開きました。15人が参加し、雫石町産の花を使いアレンジメントしたミニ門作りを楽しみました。

二戸  
12/17



↑一戸町立奥中山小学校の3年生21人は総合学習の一環で、同町の坂本亮太さんのハウスで促成アスパラガスの収穫体験をしました。



あいさつする小野寺会長

■ 新しいわて SHIN-IWATE

「いわて農業・地域共生」の未来を創る

J Aいわてグループは12月3日、盛岡市の都南文化会館で第46回JA岩手県大会を開きました。JA岩手県中央会の小野寺敬作会長は「環境の変化や新時代に対応し、持続可能ないわて農業と地域共生社会の確立を目指す」とあいさつ。中長期を見通したJAいわてグループの方針として、国民への食料の安定供給と農業・農村の保全・維持、社会変化・要請に伴うデジタル化、SDGsへの対応、JA経営基盤の維持と組合員組織強化に取り組んでいきます。

■ 東部 TOUBU

県最終選抜会に向けて 全国和牛能力共進会決起大会

東部和牛改良組合は12月15日、くずまき高原牧場で第12回全国和牛能力共進会決起大会を開きました。

東部エリアの候補牛出品者6名にエールが送られるとともに、ガンパロー三唱で士気を高めました。また講演では、岩手県農林水産部の今野一之特命課長が飼養環境や給餌、追い運動など今後の飼養管理について詳しく説明しました。県最終選抜会は来年7月に行われる予定です。



ガンパロー三唱で意気統一する候補牛出品者ら

■ 新しいわて SHIN-IWATE

販売実績17億7431万円 花卉生産部会協議会実績検討会

J Aは12月9日、八幡平支所会議室で実績検討会を開き、令和3年度の販売実績を確認しました。

今年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で消費地との往來の自粛が続く中、Web会議や産地PRのため動画を制作し、セリ前に放映しました。販売実績は作柄の前進化や高温などの影響もあり、前年を下回る17億7,431万円の実績となりました。



次年度に向けた取り組みを検討する参加者ら

■ 新しいわて SHIN-IWATE

最優秀賞に瀧沢卓さん 枝肉研究会いわちく大会

J Aは11月26日、紫波町の(株)いわちくで第21回新岩手農業協同組合枝肉研究会いわちく大会を開きました。管内から26頭が出品され、雫石町の瀧沢卓さんの出品牛が最優秀賞に輝きました。その他の入賞者は次の通りです。

- 優秀賞：釜石善八さん(一戸町) 立花貴人さん(八幡平市)
- 優良賞：上野寿さん(二戸市) 竹田直也さん(八幡平市) 合同会社ファーム中村(盛岡市)



最優秀賞に輝いた瀧沢さん(右)と宇部常務(左)



# 畜産情報

## 削蹄について

八幡平営農経済センター 畜産酪農課 久保 翔



今回は、削蹄についての話をしたいと思います。牛の蹄は、人の中指と薬指の爪に相当します。蹄の裏側は先端部分が固く、カカト部分は球体状の柔らかな角質で覆われています。

また、蹄は第2の心臓とも言われています。心臓から遠く離れた蹄は、どうしても血液の巡りが悪くなりがちです。そこで、蹄自体が、歩くたびに負重による伸縮を繰り返して、ポンプの役割を果たし蹄の血液循環を促進しています。

蹄が伸びすぎたり変形したりすると第2の心臓ともいえるポンプ作用も低下します。その結果、蹄の健全性が損なわれさまざまな蹄病やトラブルが発生しやすくなります。

繋ぎ牛舎の場合、運動量が極端に制限されているため少しでも蹄の機能を回復し、それを維持するために削蹄を行うことが重要です。削蹄を行うことにより、牛のストレスを無くし余分なエネルギーの

分散することにより、継続的な出荷を目指します。また、切断する駒木の長さを変える事で収穫がしやすくなります。

定期的な水の交換、換気によりトロケやカビの発生を抑え収量の向上につなげる。

店頭で並んだ際の見栄えを良くする為、新たなデザインでのシール作成、トレー素材の変更、トレーへの並べ方を見直しました。寒さ厳しい中、一足早い春の味覚「タラの芽」を今年度も継続的に出荷していきます。

●牛子市場では削蹄が必須。産地づくりとして削蹄を行います。



## 家畜市場成績 (JA新いわて分) ※税込

Table with columns for market type (南東部), date (12/17), and various price metrics (頭数, 最高価格, 最低価格, etc.)

Table with columns for market type (和牛子牛), date (12/16), and various price metrics (頭数, 最高価格, 最低価格, etc.)

Table with columns for market type (スマール), date (11/22~12/20), and various price metrics (頭数, 最高価格, 最低価格, etc.)

## 新いわて枝肉販売成績 (11月) ※税抜

Table showing branch meat sales performance by variety (品種) and weight (重量).



にぎやかなお正月に。忙しさはあるものの周囲の笑顔があなたを幸せな気持ちにしてくれます。連絡は小まめに★ダイコン



# 営農情報 1月 園芸

## タラの芽の安定出荷に向けて

二戸営農経済センター 一戸地区担当課 米穀園芸担当 日影 勝



奥中山地域では冬場の換金作物としてタラの芽の促成栽培に取り組んでおり、12月中旬から露地物が出始める4月上旬まで出荷しています。

①タラの木の育成 適切な施肥・適期防除を行う事でタラの木を大きく生育させ、敷き詰める駒木の量を確保する。

②計画的な仕込み 駒木の敷き詰める時期を



③温床の管理 定期的な水の交換、換気によりトロケやカビの発生を抑え収量の向上につなげる。

④出荷規格の見直し 店頭で並んだ際の見栄えを良くする為、新たなデザインでのシール作成、トレー素材の変更、トレーへの並べ方を見直しました。

寒さ厳しい中、一足早い春の味覚「タラの芽」を今年度も継続的に出荷していきます。

# FROM TOKYO ~東京だより~



## 令和3年の振り返り

営農経済部 東北園芸センター 全農東京駐在 石嶋 彰



新年あけましておめでとうございます。昨年の消費地では新型コロナウイルスの感染拡大による2度の緊急事態宣言と、まん延防止措置期間がありました。

野菜の販売経過の入荷については、春先は暖冬の影響から、西南暖地産は前進出荷となり潤沢な入荷となり、関東近在産においては天候不順から作柄の遅れとなり端境となる場面が見られました。

夏秋期には、天候が回復したこと東北産の生育も回復し、品目全般に潤沢な入荷となり、お盆以降には、西日本の台風、東日本の気温の低下から果菜類を中心に入荷減、葉菜類では長野産の雹害や北海道産の干ばつにより、白菜・レタスで入荷減となりました。

秋冬期には関東近在産の入荷増に加え、西南暖地産の前進出荷から潤沢な入荷が続きました。

消費行動として一昨年に比べ外出する傾向は強かったことから、外食関係の動きは回復傾向となりましたが、中食のテイクアウトや惣菜関係の動きが強い傾向となり、量販店においては、巣ごもり需要で動きの良かった一昨年並みの動きがみられ、販売面では潤沢な入荷から加工業務関係へ仕向けることが難しく、引き続き荷動きの良い量販店・小売り関係中心の販売となった年でした。

本県産の栽培環境においては、低温・干ばつ等の天候不順により栽培の難しい年であったと思います。

令和4年、生産者の皆さまにおかれましては、より一層、生産に力を入れていただき、岩手県産の野菜を昨年引き続き消費者に手に取っていただけるよう、販売促進を行っていただければと思います。

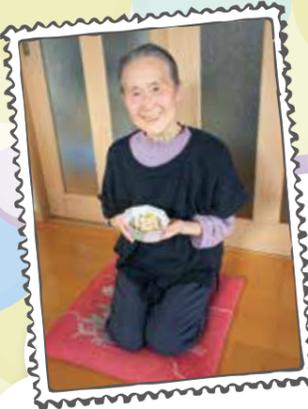
入荷増に加え、西南暖地産の前進出荷から潤沢な入荷が続きました。



少し暴走気味の傾向はあるものの発展的。周囲の意見を聞くよう心掛けて。一緒に喜んでくれる人がいるのが大事★ヤマトイモ

# わくわくドリフ

今月のテーマは  
「お正月」



「正月に食べる  
伝統食」

田野畑村・切牛

くどう おさこ  
工藤 房子さん(80)

毎年正月には、<sup>しまのこし</sup>島越地区の伝統食を作ります。中でも、焼いたどんこを入れた「どんこなます」や、こんにゃく等を甘めのくるみで和える「くるみ和え」は、帰省してくる家族に大好評です。孫たちの成長した姿を見るのが楽しみです。

「門松作り」

二戸市・釜沢

くどう まさたか  
工藤 正孝さん(79)



60歳から門松作りを始め、親戚や二戸駅などに贈呈するため、毎年30個ほど作っています。良い年を迎えてほしい、帰省した時に門松を見て故郷を思い出してほしいという思いを込めています。今年は、コロナが収束し普通の生活に戻り、交流の場が増えてほしいです。

## あぐりトーク AGURI TALK



「ひたすら働く  
お正月」

盛岡市・武道

いとう りつこ  
伊藤 リツ子さん(72)

産直に餅などの加工品を出荷しているので、正月は切り餅やお供え餅づくりでとても忙しいです。今年は去年より注文が多いですね。大変ですが、買ってくれる人がいるからがんばれるし、周りの人に助けられてここまでやってきました。今年も元気にがんばりたいです！

「今年の雪は…」

八幡平市・野駄

くどう けいじ  
工藤 敬二さん(55)



リンゴの出荷が一段落する頃から、除雪の仕事が始まります。毎年、天気を気にしながらの正月です。今年の雪はどうなるか分かりませんが、ここ数年はゆっくり過ごさせていますね。いつも家の農業を支えてくれている妻と母に感謝しながら、今年もがんばりたいです。



うちむら いさみ  
内村 勇心 くん(2歳・左)  
いつき 伍希 くん(1歳・右)  
【内村 貴喜さん、里佳さんのお子さん】

たくさん食べて  
大きくなってね！



みたち いくと  
三田地 郁仁 くん(3歳・右)  
はやと 隼 くん(1歳・左)  
【三田地 駿さん、千結さんのお子さん】

仲良く元気に  
育ってね！



さとう こう  
佐藤 昊旺 くん(3か月)  
【佐藤 優也さん、沙希さんのお子さん】

こうくんらしく、  
元気に育ってね!!

みんなの成長を  
見守っているよ！



## 地域とのつながり

あおき てるお  
青木 輝夫 さん(88) 【滝沢市・大石渡】

地元の老人クラブといきいきサロンの事務局をやっています。コロナ禍のため活動は制限されていますが、老人クラブでは保育園との交流や日帰り旅行、いきいきサロンでは健康教室などの活動をしています。昔から役員や事務局を頼まれることが多く、大変だと分かっていますが、頼まれると「やってみよう」と引き受けてしまいます。ですが、地域とのつながりが毎日を元気に過ごす活力につながっていると思います。

元気の源



## 2021 JA新いわて牧草ロール写真コンテスト入賞作品のご紹介

最優秀賞



小野寺清一郎さん(八幡平市)

応募の中から、最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞3点、特別賞1点が選ばれました。おめでとうございます。

特別賞



加賀谷真由美さん(葛巻町)

優秀賞



葛巻町畜産開発公社と  
岩手大学教育学部

優秀賞



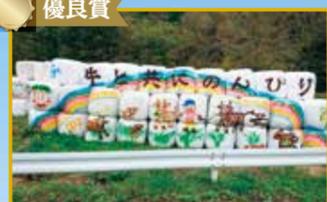
大上武さんと  
来内小学校(久慈市)

優良賞



星野紘希さん(葛巻町)

優良賞



佐藤文喜さん(岩泉町)

優良賞



槻館正子さん(一戸町)

あれもこれも

いいね!

新しいわて



東北一の酪農郷である葛巻町で、酪農を営む6人の女性達で作るジェラート。フレーバーは、年間を通して地元産の葛巻町産のものを中心に使用しています。その中で、冬限定で販売しているのが「豆柿」です。豆柿は、なかなか手に入らない自生している小さな柿で、枝に付いたまま干し柿になり渋も抜けています。冬限定の珍しいジェラートです。是非ご賞味ください。

また、冬の時期は、かぼちゃ、甘酒、あずき、お味噌、アップルパイなどの限定メニューも用意しています。もちろん、原料にはスタッフが搾った生乳を使用しています。

豆柿のジェラート  
くずまきジェラート  
クローバー畑



くずまきジェラート クローバー畑

〒028-5402 岩手県岩手郡葛巻町葛巻6 地割11-3

TEL: 0195-68-7571 FAX: 0195-68-7572

URL: <http://clover-batake.com/>

営業時間: 10:30~16:30 (10月下旬~1月末までは16:00までの営業)

定休日: 月・火・水 (※月曜日は祝日の場合は営業)

JAの活動とSDGs



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

12 つくる責任  
つかう責任



目標 12  
[持続可能な消費と生産]

12. つくる責任つかう責任 持続可能な消費生産形態を確保する

13 気候変動に  
具体的な対策を



目標 13  
[気候変動]

13. 気候変動に具体的な対策 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



地域で生産される農畜産物を理解し安心して消費してもらうため、各地域で収穫体験や料理教室を開いています。産直では、地域で生産される農畜産物を販売しています。女性部活動では、グリーンカーテンの活動も行われています。



金融移動店舗車

いいね! 号

## 令和4年2月の運行スケジュール

下記のとおり金融移動店舗車(いいね!号)を運行いたしますので、ご案内いたします。

地域	営業場所	営業日(2月)	営業時間
安代地区	旧田山出張所	24日(木)	10:00~12:00
葛巻町田部地区	冬部生活改善センター	15日(火)	10:00~11:00
久慈市侍浜地区	侍浜農村改善センター	14日(月)	10:00~11:00
久慈市宇部地区	旧宇部ふれあい店	14日(月)	13:00~14:00
久慈市山形町川井地区	旧山形支所	2日(水)、16日(水)	10:00~13:00
洋野町種市地区	旧種市支所	7日(月)、21日(月)	10:00~13:00
洋野町中野地区	中野改善センター	3日(木)、17日(木)	10:00~11:00
洋野町城内地区	旧城内ふれあい店	3日(木)、17日(木)	13:00~14:00
普代地区	旧普代支所	4日(金)、18日(金)	11:00~13:00
奥中山地区	旧奥中山支所	9日(水)	10:00~12:00
浄法寺地区	旧浄法寺支所	22日(火)	10:00~12:00

※お客さまのご利用状況により、営業日数の変更ならびに営業中止となる場合がありますので、多数のご利用をお願いいたします。また、悪天候・災害等やむを得ない状況により営業中止となる場合がございます。

水瓶座  
[1/20~2/18]

上昇運です。定まらないことを形にしていける作業にツキがあります。年間予定を立てるなど前向きに動いて★クワイ

山羊座  
[12/22~1/19]

ハッピーな年明けです。あなたの行動が周りの人も幸せな気分。楽しい予定を立てて。人の世話を焼くのも◎★ハクサイ



**JAの概要(11月末)**

- 正組合員数 18,024人(15,779戸)
- 准組合員数 23,028人(17,155戸)
- 出資金 73億64百万円
- 貯金高 2,611億5百万円
- 貸出高 539億44百万円
- 月末農畜産物販売額 357億19百万円
- 購買品供給高 127億89百万円

## 役員候補者選出にかかるお知らせ

任期満了に伴う次期役員候補者の選出を執り行いますので、お知らせいたします。

なお、今次選出する理事・監事定数は第24回通常総代会で見直しされております。

●役員候補者届出受付日 令和4年2月 8日(火)

●役員候補者選出投票日 令和4年2月20日(日)

(定数を超えない場合は無投票となります。)

区域(地区)又は区分	理事	うち認定農業者 または 実践的能力者	監事	
南部区域	滝沢 (盛岡市下厨川字銅 屋敷の区域を含む)	2人	2人以上	1人
	栗石	2人		
八幡平区域	西根	2人	2人以上	1人
	松尾	1人		
	安代	1人		
東部区域	玉山	1人	2人以上	1人
	岩手	2人		
	葛巻	1人		
久慈区域	洋野	1人	2人以上	1人
	久慈	2人		
	野田・普代	1人		
二戸区域	二戸	1人	2人以上	1人
	九戸	1人		
	軽米	1人		
	一戸	1人		
宮古区域	宮古・山田	2人	2人以上	1人
	岩泉・田野畑	1人		
実務精通役員		2人以内	2人	2人以内
女性役員		2人		

※無投票となった区域は掲示場所に掲示し、無投票通知のお知らせは送付いたしません。

私の小学校の頃、お正月に食べる素朴な楽しみがお餅とミカンでした。両親が臼と杵を使ってついて、つきたての餅をくるみで食べたこと。また、ミカンもお正月にと冬の味覚でした。年中あるミカン、季節感がないのもちょっと残念ですね。  
(久慈市・水堀)

お正月といえば、内孫、外孫、家族みんな集まり年越し、正月と大騒ぎして3日間過ごしたのが、コロナで集まりも騒ぎもなくなり寂しいですね!でも、孫たちはそれなりに大きく育っています!  
(栗石町・野中)

正月といっても、どこに行くわけでもなく、何をするわけでもなく。それでも元旦って、新しい1年が始まった感じがするんですね。誰にでも来てくれるお正月に感謝です。  
(岩手町・田村)

おたよりコーナー  
お題:お正月

以前は除夜の鐘が鳴る頃、八幡様に元朝参りをしたのですが、年齢と共に日中行くようになり、歳を感じるようになりました。1年の始まり、気持ちが引き締まります!  
(八幡平市・遠藤)

私が子どもの時の遊びと言えば、カルタと凧揚げです。凧揚げは、電線がなく広い学校の校庭でしたものです。懐かしい思い出です。  
(二戸市・松本)

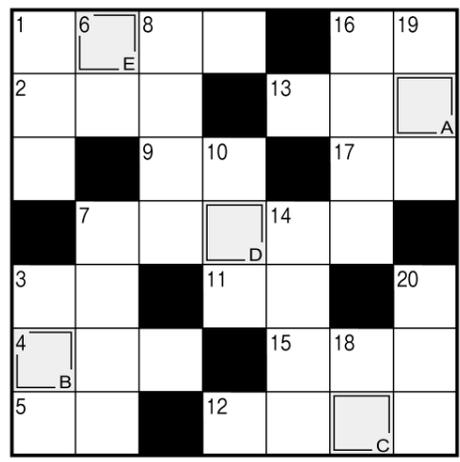
**お知らせ**

お便りありがとうございます。(2月号)のお題は「冬の楽しみ」です。ウインタースポーツや冬ならではの食べものなど、あなたにとっての冬の楽しみについてぜひお聞かせください。掲載された方には図書カード(500円分)をプレゼントいたします。広報誌への感想・ご意見などもお待ちしております。

おたよりコーナー応募フォーム

## タロヌワ×ドXパズル

二重枠に入った文字をA→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



- ヨコのカギ
- 1月の第2月曜日は—の日。国民の祝日です
  - 旅支度で、旅行かばんに—を詰めた
  - 下手な鉄砲も—撃ちや当たる
  - 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
  - 水が混じって軟らかくなった土
  - これが三つで三振
  - 土を盛り上げて作ります
  - 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
  - 「住めば都」とか「猫に小判」とか
  - 果物—を使ってリングをむいた
  - 遠回りをすること
  - 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
  - やっぱり自分の—が一番落ち着くな
- ↓タテのカギ
- 1 オイルショックともいわれる—危機
  - 3 分度器で測ります
  - 6 栗の実のトゲトゲ
  - 7 春の七草の一つ。ダイコンのことで
  - 8 遊園地で—コースターに乗った
  - 10 おでんに添える黄色い薬味
  - 14 年下の女きょうだいのこと
  - 16 屋外で行うことも多い教科
  - 18 ミカンのものは手でむけます
  - 19 おしゃれな—でランチを楽しんだ
  - 20 「オリオン」「おおいぬ」「カシオペア」といえば

**応募方法**

郵便はがきにクイズの答・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・JA事業についてまたは広報誌に対するご意見等をお書きの上、〒020-0667 滝沢市鶴岡向新田7-76 [JA新しいわて] 組織経営課宛にお送りください。また、応募フォーム、メールでも受け付けております。アドレスは、s-kouhou@jasi.or.jpまで。締切りは1月31日(必着)です。正解者の中から抽選で10人の方に図書カード(500円分)をプレゼント致します。

**11月号の答え**

【カンツバキ】でした。

クイズの当選者は次の方々です。(応募116通)

上野 千鶴子さん (滝沢市)	岸里 卓見さん (久慈市)
高橋 勝三さん (栗石町)	立花 千栄子さん (二戸市)
大崎 秀幸さん (八幡平市)	工藤 正弥さん (軽米町)
三井 未来さん (八幡平市)	奥地 吉広さん (田野畑村)
三浦 啓子さん (岩手町)	菊地 ミユキさん (宮古市)

**理事会報告**

11月26日に第9回理事会を開催し、次のことを決議しました。

〈第9回理事会〉

- 八幡平支所2階会議室
- 固定資産(旧田野畑支所土地・建物)の処分について
- 不祥事再発防止策の取組状況(10月分)について
- 役員責任調査委員会の設置について

**監事会報告**

11月24日に第7回監事会を開催しました。今回は報告事項、協議事項のみでした。

〈第7回監事会〉

岩手支所2階特別会議室(テレビ会議)

# はばだけ! 未来アスリート

管内の頑張るスポーツ少年団を紹介します。  
全国、そして世界へはばだけ！未来のアスリートたち！

VOL.32

JUDO



## わたしの パワー食材

やまもと るちる  
山本 琉心さん

豚肉がやわらかくて好きです。焼き肉やしゃぶしゃぶで食べています。



## 明るく、楽しく！ 寺田柔道スポーツ少年団

小学生から中学生の19人が所属する寺田柔道スポーツ少年団。勝ち負けより「自分に負けないこと、相手に感謝すること」を意識しています。他の競技と掛け持ちする団員も多く、遊びを取り入れた体力づくりや基本を中心に練習しています。保育園児から社会人までが気軽に柔道ができ、生涯スポーツとして長く続けられるように明るく、楽しく活動しています。



動画はこちら



## 今月の料理 いただきます

### パプリカみそ入りおにぎり

料理作者：小松 さちこさん(洋野町・種市)



#### 材料(4人分)

- パプリカ(赤・黄色・緑)……各2個
- ニンニク……………1片
- 味噌……………150g
- 砂糖……………大さじ6杯
- 酒……………150cc
- 水あめ……………大さじ2杯
- ごはん……………おにぎり4個分
- 青しそ……………8枚

#### つくりかた

- ①パプリカ、ニンニクを細かく食べやすいように刻みます。
- ②味噌、砂糖、酒、水あめを①に加えます。
- ③①、②で混ぜたものを水気がなくなるまで練り合わせます。
- ④練り合わせたものを具にしておにぎりを作ります。
- ⑤海苔の代わりに青しそを巻きます。

#### ワンポイント

- ・味噌とお酒が入っているので保存もきくし、甘めの味なので子どもでも食べやすいと思います。
- ・パプリカみそは、ナス揚げや焼豆腐に乗せて食べても合います。

